

2020  
2/29 土



独立行政法人 国立病院機構

北海道医療センター

## 「神経・筋疾患」研修会

主催：北海道医療センター

後援：北海道医師会、札幌市医師会

筋萎縮性  
側索硬化症

# ALS

## 療養における意思決定 プロセスと在宅療養

日時：令和2年2月29日（土）

13：30～16：45（13：00～受付）

場所：国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1札幌国際ビル8階

この研修会は北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座（3単位）として開催いたします。  
【カリキュラムコード 9 医療情報、10 チーム医療、13 医療・介護・福祉の連携】

- ◎ 本講座は、北海道医師会が生涯教育制度に則り参加された方々のデータを登録いたします。  
芳名、医籍登録番号の記載にご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎ ご記入いただきました情報は、本講演会実施報告書の作成のみに使用いたします。

総合司会：地域医療連携室 看護師長 有馬祐子

13：30【開会の辞】院長 菊地誠志

### 講演

13：35～15：05

座長 脳神経内科医長 南尚哉

1. 『勤務医の立場から、いかに在宅療養チームと連携をとっていきべきか』  
北海道医療センター 脳神経内科 網野 格先生
2. 『かかりつけ医と専門医との連携』  
医療法人社団ありがとうの風 くまさんクリニック副院長 熊谷 範子先生
3. 『在宅ALS患者の人工呼吸器選択に関する意思決定プロセス-3例の検討』  
医療法人財団老蘇会 静明館診療所 院長 矢崎 一雄先生

休憩 15：05～15：15

### 特別講演

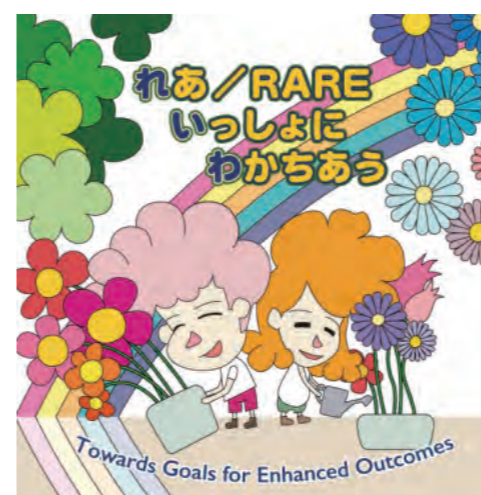
15：15～16：45

座長 脳神経内科医長 南尚哉

『ALS療養における意思決定プロセスと在宅療養  
～職域の理解と協調に向けて外への発信～』

三重大学大学院医学系研究科看護学専攻基盤看護学領域  
教授 成田 有吾先生

16：45【閉会の辞】脳神経内科医長 南尚哉



## RDD2020

世界希少・難治性疾患の日/Rare Disease Day

RDD（アールディディ）とは？

Rare Disease Day（世界希少・難治性疾患の日、以下RDD）はより良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質の向上を目指し、スウェーデンで2008年から始まった活動です。日本でも趣旨に賛同し、2010年から2月最終日にイベントを開催しております。RDD2019の公認開催地域は全国46となり、回を重ねるごとに大きな反響を呼んでいます。